

演習 - リソース ロックを使用して、偶発的な削除からストレージ アカウントを保護する

100 XP

8 分

この演習では、リソース ロックによって Azure リソースの偶発的な削除がどのように防がれるのかを確認します。

これを行うには、Azure portal からリソース グループを作成します。リソース グループは、関連する Azure リソースに対するコンテナと考えることができます。次に、リソース グループにロックを追加し、リソース グループを削除できないことを確認します。

その後、ストレージ アカウントをリソース グループに追加し、親リソース グループからのロックによってストレージ アカウントが削除されないことを確認します。ストレージ アカウントは、Azure Storage サービスのセットをまとめてグループ化するコンテナです。

重要

このモジュールの演習を完了するには、自分の **Azure サブスクリプション**が必要です。Azure サブスクリプションを持っていない場合でも、読み進めることはできます。

リソース グループを作成する

ここでは、**my-test-rg** という名前のリソース グループを作成します。

1. Azure Portal にアクセスしてサインインします。
2. ページの上部で、**[リソース グループ]** を選択します。
3. **[+新規]** を選択します。 **[リソース グループを作成します]** ページが表示されます。
4. **[基本]** タブで、次のフィールドに入力します。

設定	値
プロジェクトの詳細	
サブスクリプション	お使いの Azure サブスクリプション
Resource group	my-test-rg
リソースの詳細	
リージョン	(米国) 米国東部

自分の近くのリージョンを選択してもかまいません。

5. **[確認と作成]** を選択し、次に **[作成]** を選択します。

リソース グループにロックを追加する

リソース ロックをリソース グループに追加します。 そのためには次を行います。

- 1. Azure portal でリソース グループ **my-test-rg** を選択します。
- 2. **[設定]** で **[ロック]** を選択し、**[追加]** を選択します。



3. 以下のフィールドを設定します。

設定	値
ロック名	rg-delete-lock
ロックの種類	削除

4. **[OK]** を選択します。

リソース ロックがリソース グループに適用されていることがわかります。



リソース グループが削除から保護されていることを確認する

ここでは、リソース グループの削除を試みることで保護を確認します。

1. ページの上部で **my-test-rg** を選択して、リソース グループの概要ページに移動します。

ホーム > リソース グループ > **my-test-rg**
リソース グループ «

2. **[リソース グループの削除]** を選択します。

+ 追加 ≡ 列の編集 **🗑️ リソース グループの削除** ↻ 更新 → 移動 ▼

3. プロンプトで「**my-test-rg**」と入力し、**[OK]** を選択します。

リソース グループがロックされており、削除できないことを示すメッセージが表示されます。

❗ **リソースグループ my-test-rg を削除できませんでした** 午後 10:03
リソースグループ my-test-rg はロックされているため削除できません。
このリソースグループのロックを管理するにはここをクリックします。

ストレージ アカウントを偶発的な削除から保護する

ここでは、ストレージ アカウントをリソース グループに追加し、親リソース グループからのロックによってストレージ アカウントが削除されないことを確認します。 そのためには次を行います。

1. Azure portal のページの上部にある **[ホーム]** を選択して、スタート ページに戻ります。
2. **[ストレージ アカウント]** を選択します。 次に、**[+ 新規]** を選択します。 **[ストレージ アカウントの作成]** ページが表示されます。
3. **[基本]** タブで、次のフィールドに入力します。

注意

NNN は一連の数字に置き換えます。 この数字は、ストレージ アカウント名を確実に一意にするのに役立ちます。

設定

値

設定	値
プロジェクトの詳細	
サブスクリプション	お使いの Azure サブスクリプション
Resource group	my-test-rg
インスタンスの詳細	
ストレージ アカウント名	mysaNNN
場所	(米国) 米国東部
パフォーマンス	Standard
アカウントの種類	StorageV2 (汎用 v2)
レプリケーション	ローカル冗長ストレージ (LRS)

前と同様に、自分の近くのリージョンを選択してもかまいません。

4. **[確認と作成]** を選択し、次に **[作成]** を選択します。


デプロイが完了するまでにしばらくかかる場合があります。

5. **[リソースに移動]** を選択します。

6. ページの上部で、**[削除]** を選択します。

 エクスプローラーで開く
  移動
  最新の情報に更新
  **削除**
 フィードバック

リソースまたはその親がロックされており、削除できないことを示すメッセージが表示されます。mysa1234 という名前のストレージ アカウントに対するエラー メッセージの例を次に示します。

 'mysa1234' は、このリソースまたはその親が削除ロックを保有しているため、削除できません。このリソースを削除するには、まずロックを削除する必要があります。[削除ロックに関する詳細情報](#)

ストレージ アカウントに対しては明示的にロックを作成しませんでした。親リソース グループに作成されたロックによって、リソースを削除することはできません。つまり、ストレージ アカウントは、親リソース グループからロックを継承しています。

リソース グループとストレージ アカウントを削除する

リソース グループまたはストレージ アカウントが不要になりました。ここでは、両方を削除します。

リソース グループを削除すると、前に作成したストレージ アカウントなどの子リソースも削除されます。

リソース グループを削除するには、最初にリソース ロックを解除する必要があります。

1. Azure portal から、**[ホーム] > [リソース グループ] > my-test-rg** を選択して、リソース グループにアクセスします。
2. **[設定]** の **[ロック]** を選択します。
3. **rg-delete-lock** を見つけて、その同じ行の **[削除]** を選択します。
4. **[概要]** を選択し、**[リソース グループの削除]** を選択します。
5. プロンプトで「**my-test-rg**」と入力し、**[OK]** を選択します。

削除操作が完了するまでにしばらくかかる場合があります。

6. 操作が完了したら、**[ホーム] > [リソース グループ]** を選択します。

my-test-rg リソース グループがアカウントに存在しなくなったことがわかります。ストレージ アカウントも削除されています。

お疲れ様でした。リソース ロックを適用して、Azure リソースが誤って削除されるのを防ぐことができるようになりました。